

防災の分野に男女共同参画の視点を！

「ふじのくに男女共同参画防災プロジェクト2019」を開催

静岡県では、防災の分野に「男女共同参画」の視点を取り入れるため、平成24年度に「ふじのくに男女共同参画防災プロジェクト」を立ち上げ、県内各地でセミナー等を開催しています。

2月2日（日）、高洲地区交流センターにおいて、県が育成する「女性防災リーダー」と地域の自主防災組織の連携構築を目的に「ふじのくに男女共同参画防災プロジェクト2019」を県と藤枝市との共催で開催しました。当日は、西は浜松市・東は下田市と県内全域から約90名が出席、本市からも女性防災リーダー・女性消防団員・自主防災組織役員などが多く参加し、活発な意見が交わされました。



地域防災課 松井主任主査による事例発表

当日は、浜松市を拠点に各地で災害講師・ファシリテーターとして活躍されている鈴木まり子さんをコーディネーターに迎え、事例発表とグループワークの2部構成による講座を開催しました。

第1部では、静岡市・掛川市・藤枝市から男女共同参画の視点を取り入れた防災の取組事例が発表されました。藤枝市の取組としては、地域防災課 松井主任主査より、本市の現状と令和2年度より実施を予定している女性防災リーダーや女性団体によるネットワークの構築について説明されました。

第2部のグループワークでは、「今現在取り組んでいる中で女性の視点を取り入れているもの」「これからより女性の視点を取り入れた活動をするために何ができるのか」をテーマに、グループごとに意見を出し合いました。

日ごろから地域で防災活動を続けている参加者たちも、地域防災力を高め災害に強い地域をつくるうえでの女性活力の必要性と、男女共同参画の視点を持った防災対策の重要性を再認識していました。



グループワークの様子